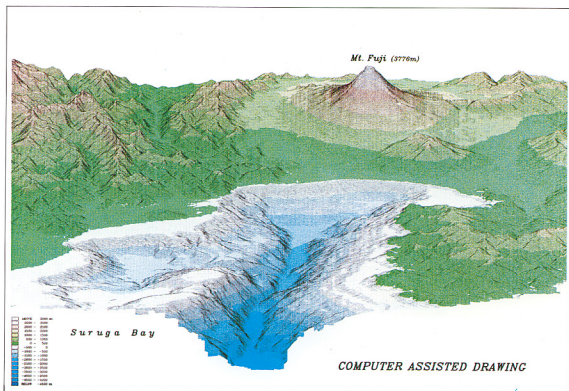
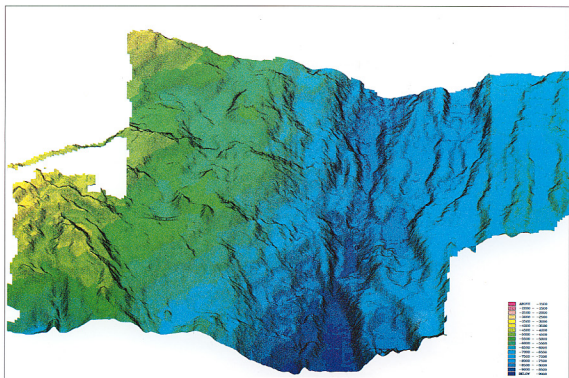
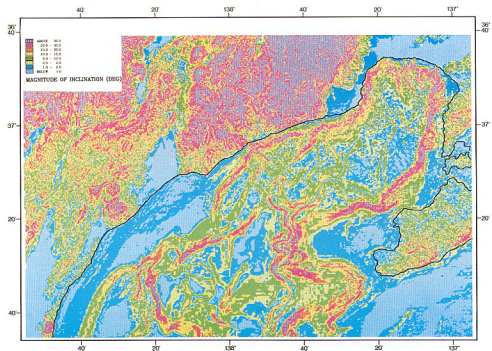


精密測量が描き出す海底の変動地形



1. (上)駿河湾の海底地形(浅田, 1987).
2. (下)海上保安庁水路部の新「明洋」(521トン、全長60m、幅10.5m)、シービーム2000/12を搭載、1990年10月24日就役。



3. (上)富山湾および富山トラフ海底の地形面傾斜分布図(上が南), 傾斜 15'以上を橙-紫の暖色で, 1'以下を青色系で示す。浅田ほか(1989)による。

4. (下)房総半島沖海溝三重点付近の三次元海底地形図。本文の第6図に対応。

シービーム等を用いた精密測量によって、海底地形の詳細が近年明らかにされ、地震予知や資源探査のための重要な知見が得られつつある。ここでは、海上保安庁水路部の調査が描き出した海底の変動地形の一端を紹介する。詳しくは、本誌31-40ページを参照されたい。(海上保安庁 水路部 海洋調査課 桂 忠彦・浅田 昭)